

鳥獣害対策の第1歩 ～生態を知ろう：ニホンザル～

富士見町有害鳥獣対策協議会(産業課 農林保全係) ☎62-9222

昨年度、富士見町で最も農作物被害を生んだのが「ニホンザル」です。頭が良く、運動神経の良いニホンザルは、被害を出す動物の中で最も対策が難しい動物です。ですが相手のことをよく知り、的確な対策を続ければ、サル被害は必ず防げます。

食性：雑食性。特にカキ、カボチャ、モロコシなど甘く栄養価の高いものが好きです。目が良いため、食べ物の鮮度にもこだわります。
繁殖：栄養状態が良いと毎年出産。子ザルは母親と行動します。
生態：昼行性で、夜は群れで眠ります。五感は人間と同じくらい鋭く、新しいものや状況、場所を警戒しますが、慣れるとどんどん大胆に。
運動：運動神経は抜群です。木登りとジャンプが得意で、行動を制限するのがとても難しいです。



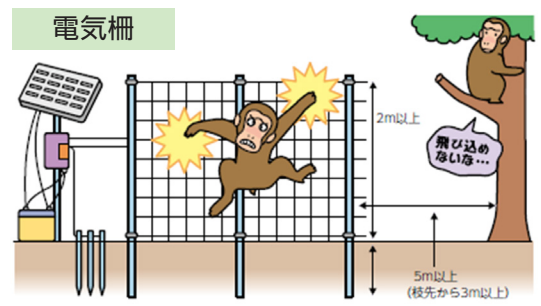
対策 ①サルが来にくい環境を作る

サルが人里をエサ場にしないために、カキなどの放棄果樹、畑に残る廃棄野菜などは、埋めるなどサルに見つからないようにしてください。目や鼻の良いサルはすぐに見つけて寄ってきます。また、集落、農地周辺の藪の刈り払いも、サルの隠れ場所を減らす大切な作業です。

②電気柵で侵入を防ぐ

サルはただのネット柵では簡単に登ってしまうため、電気を通してショックを与える【サル用電気ネット柵】が効果的です。高さは2m以上、飛び込み防止のため周囲の樹木や建物からは5mは離してください。断線や漏電に注意が必要ですが、電気を使うことでより高い効果が得られます。

電気柵は高価ですが、町では個人設置電気柵への補助も行っていますので、設置の際はご相談ください。



▲引用：農林水産省 被害防止マニュアル

富士見町スポーツ少年団だより

富士見町スポーツ少年団事務局(町民センター内) ☎62-2400

春の陽気に誘われ、多くの単位団が本格的に活動を開始しました。町スポーツ少年団は主に単位団ごとの活動になりますが、その中でもさまざまな交流活動を行っています。

▼町スポーツ少年団総結合団式

4月下旬の日曜日に町スポーツ少年団に所属する全単位団が集まり、今年の活躍を日頃からスポーツ少年団を見守ってくださる保護者及び来賓の方々に宣言しています。1年間の活動のスタートとなる大事な式典です。



富士見町スポーツ少年団員を募集しています!

元気よくスポーツをしませんか?

入団を考えている方、興味のある方はお気軽にスポーツ少年団事務局へお問い合わせください。

【種目】剣道・野球・バレーボール・空手
サッカー・スキー・バドミントン

▲姉妹町交流

姉妹町である西伊豆町のスポーツ少年団と毎年交流会を行っています。平成29年度は富士見町でサッカーと富士見サンキッズ(バレーボール)が交流を行いました。初めは緊張していた団員も試合が終わる頃には緊張も解け、みんなで仲良くスイカを頬張っていました。

県競技別交流大会

県内の単位団が競技ごとに交流試合を行っています。平成29年度は富士見町でバレーボール競技を行い、富士見サンキッズの3チームを含む全25チーム229名が交流を行いました。普段あまり交流のない南信地区以外の単位団とも試合を行い、とてもいい機会となりました。

